

# 卒業アルバムを安く作るコツ。

「安いものを購入する」、「安くものを購入する」この二者は全く違います。前者の場合は製品そのものの品質や付加価値が極端に劣っていることになり、後者は高品質のものや高価格の製品をアイデアを駆使して品質を劣化させることなく低価格で購入することを意味します。前者と後者の製品の性質はまったく異なるという点に着目してください。ここでは「安いアルバムを購入する」のではなく「高品質の卒業アルバムを安く購入する」コツをお教えします。

## 撮影・営業・流通の各経費に着目

卒業アルバムを注文するとき、大切なことは商品の価格構成です。価格構成は、「印刷・製本価格」と「撮影・営業・流通にかかる経費」の二つに大きく分類されます。商品を安く購入しようとした場合、印刷・製本費用の削減はあまり期待できません。なぜなら、この費用を削減すると品質の低下を招くからです。答えはひとつ、**撮影・営業・流通にかかる経費を削減する方法を考える必要がある**のです。

	従来の方式	新しい方式
印刷・用紙	¥120,000	¥120,000
製本	¥100,000	¥100,000
文章	¥100,000	¥100,000
編集	¥100,000	¥100,000
業者マージン	¥130,000	¥130,000
撮影・営業	¥450,000	¥150,000
合計	¥1,000,000	¥700,000

左の図は従来のアルバム制作費用とインターネットを使った全く新しい方式との価格差を表したものです。改善できるのは撮影・流通費だけであることに注目してください。出来上がった製品はまったく同品質です。

## 撮影カメラマンを無駄なく活用

民間では経費をなるべく抑えるということが常識です。すぐに人件費を安くすることを思い浮かべますが、この場合カメラマンのレベルを下げることは、製品の劣化を招きます。安くするためには、優れたカメラマンを無駄にしないで活用することです。たとえば、**生徒・教師の顔写真、集合写真、スナップ写真を一日で撮影した費用と、欠席者をひとり撮影した費用は極端に言えば同じ**です。参考までにカメラマンの人件費は30,000～40,000円です。この程度のアルバム制作では二日間の撮影を依頼すれば充分です。

## 学校内のスタッフを活用

学校行事等の撮影では、PTAの力を借りることをお勧めします。天候に左右される撮影の依頼は非常にリスクをとれません。特に雨天順延のような行事は、なるべく校内のスタッフでまかなえるようにしましょう。そのために普段のデジタルカメラの撮影訓練はとても有効です。

## インターネットの活用

営業・流通経費はインターネットを使うことでほぼ撤廃できます。今後は製作会社内のアルバム編集者と密に連携をとり、必要なときにカメラマンを効率よく使うという発想の転換が必要になるでしょう。

「アルバムを高く購入する」・「アルバムを安く購入する」。経費を抑える工夫を重ねて制作された製品の品質は、予算を充分にかけて制作された製品の品質と全く同等のものだということをご理解いただけることと思います。